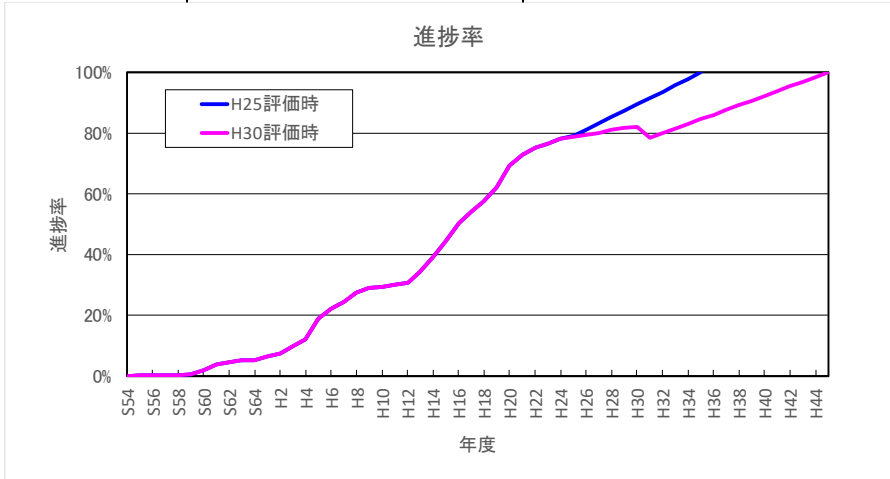


平成30年度再評価対象事業
(対象：平成25年度再評価実施事業)

(再評価実施後、一定期間(5年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	CO2削減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業課案)
	再評価 時点 H25	寒水川 (寒水川・通瀬川) 河川整備交付金事業(広域河川改修事業)	流路是正、狭窄部解消を行い、治水安全度を向上し、流域の浸水被害の軽減を図る。 (寒水川) 計画流量 160m ³ /s 計画治水安全度 1/50	全体事業費：C=151億円 工期：S54～H35 改修延長：L=7,575m (寒水川) 事業内容： 掘削・築堤護岸 排水機場1箇所 橋梁15基、堰13基	・寒水川は、排水機場(Q=18m ³ /s)がH10に完成、H22に下流放水路区間の通水を開始している。現在、西尾橋下流までの河川改修工事を進めている。 ・通瀬川は、通瀬橋及び河床掘削を残し改修が概成している。 ・橋梁11基が完成(H24末進捗率 76%) (年平均進捗率 2.2%)	(過去の災害実績) ・H2.7 浸水戸数 454戸 浸水面積 720ha ・H13.7(破堤) 浸水戸数 6戸 浸水面積 59ha (地域の状況) 流域内の宅地開発が行われている。 圃場整備がS58～H10に行われた。	最新のマニュアルに基づき、費用対効果(B/C)を算出した。 現在(B/C) = 3.9	・再生材の積極的利用 ・築堤に他事業(河川改修)の発生残土を有効利用	再評価実施後5年が経過	継続
	現時点 H30	寒水川 (寒水川・通瀬川) 河川整備交付金事業(広域河川改修事業)	流路是正、狭窄部解消を行い、治水安全度を向上し、流域の浸水被害の軽減を図る。 (寒水川) 計画流量 160m ³ /s 計画治水安全度 1/50	全体事業費：C=161億円 工期：S54～H45 改修延長：L=7,575m (寒水川) 事業内容： 掘削・築堤護岸 排水機場1箇所 橋梁15基、堰13基	・寒水川は、排水機場(Q=18m ³ /s)がH10に完成、H22に下流放水路区間の通水を開始している。現在、西尾橋の改修工事を進めている。 ・通瀬川は、河床掘削を残し改修が概成している。現在、下流より河床掘削工事を進めている。 ・橋梁12基が完成(H29末進捗率 76%) (年平均進捗率 2.0%)	(過去の災害実績) 同上 (地域の状況) 河川周辺の町道について、道路拡幅事業が進められている。	最新のマニュアルに基づき、費用対効果(B/C)を算出した。 現在(B/C) = 3.1	同上	再評価実施後5年が経過	平成2年、平成13年等の洪水被害を軽減するため、流路是正、狭窄部解消を行い、治水安全度を向上し、地域住民の安心・安全を確保するためには、当事業の継続が必要である。
	理由等			砂層での湧水対策に伴う仮設費用の増加での事業費の増 用地交渉に期間を要したことによる工期の延長	 <p>進捗率</p> <p>— H25評価時 — H30評価時</p> <p>進捗率</p> <p>年度</p>		前回再評価時と比較し、工期延長及び全体事業費の増によりCが増大し、費用対効果(B/C)の減となった。			